

4 全体評価

教育委員会の事業評価については、平成 20 年度から実施し、市が全庁的に取り組んでいる行政評価システムに基づき、事業の結果を振り返り、課題を整理した上で、次の計画と実施に反映させていく仕組みにより実施しています。同時に教育委員会の事業について、市民への説明責任を果たし、透明度を高め、取組も順調に進んできていると考えます。

引き続き、市民目線に立ち、市民の様々な声を丁寧に聴きながら、施策に反映させていく姿勢を忘れずに取り組んでいきます。

以下、施策マネジメントシートに基づき、5 項目について評価をいたします。

項目 1 の「豊かな感性をもつ幼児の育成」については、成果指標である「基本的な生活習慣が身についていると思う小学校 1 年生の割合」の実績値は 94.4%という結果となり、昨年度よりも低下しましたが、目標をほぼ達成しました。

昨年度の取組としては、まず、家庭の教育力の向上を図るため、保護者向けに子育てに関する講演会を開催したり、園だよりなどに子育てのアドバイスを掲載したりして、保護者への情報提供に努めました。

集団保育の推進という点については、幼稚園・保育所の保育料や私立幼稚園の就園奨励費において、多子世帯やひとり親世帯に対する負担軽減措置を実施しました。

環境整備の面では、「みんなであそぼう遊具整備事業」として、ふるさと寄附金を活用し、公立幼稚園に大型複合遊具や簡易プールなどを整備し、教育環境の充実を図りました。

教職員の資質の向上という点については、より質の高い保育の提供を目的に、市内の幼稚園、保育所を公立、私立の枠を越えて組織した「焼津市乳幼児教育推進会議」を中心に、課題検討部会、保育者資質向上研修会などを通じて、幼児教育の取組における課題の共有化を図るとともに、保育者（指導者）のスキルアップに努めました。

今後も、幼児教育に関わる全ての関係者が共通認識のもと、より質の高い教

育の提供に積極的に取り組んでいきます。また、全体的な園児数の減少、一部施設の老朽化が進んでいることから、施設の統合等を含めた適正な教育環境の整備について、検討していきます。

項目2の「生きる力を育む学校教育の充実」については、まず、成果指標の「知～授業内容を理解する小・中学生の割合」においては、実績値が目標値を下回りましたが、目標値とのかい離は小さく、目標をほぼ達成しました。

教員の授業改善に向けた意識が高まり、「授業がわかる」と感じる子どもたちは増えていますが、全ての子どもたちの学びの実感にまでは至っていないことから、今後も授業改善と教員の指導力向上に取り組んでまいります。

成果指標の「徳～自己肯定感をもつ小・中学生の割合」「徳～学校生活に充実感をもつ小・中学生の割合」においては、いずれも目標値に近い実績値となり、成果は現れてきていると思われまます。

いじめ問題に対応するため、いじめ防止基本方針に沿った事業を行ったことにより、いじめの未然防止、早期発見・早期解決だけでなく、他の生徒指導についても効果的であったと考えています。

ソーシャルネットワークサービスの利用については、保護者の意識改革が必要であり、学校、家庭、関係機関との連携を着実に進めながら、共育の推進に努めます。

成果指標の「体～一定以上の基礎体力のある小学生・中学生の割合」においては、小学生では目標値を下回りましたが、中学生では目標値を上回りました。引き続き、行事や授業の中で、子どもたちが主体的に体を動かし、運動に親しむよう、体育活動の充実を図っていきます。

今後も、子どもたちが自ら課題解決に向かい、学力の向上を実感できるような授業を日常化する一方、学校、家庭、地域、関係機関が連携し、適切な人間関係づくりや安定した生活・学習環境づくりなどを一層推進していきます。また、良好な学習環境を維持・確保するために、学校施設・設備の改修や教材・備品の整備等を推進する事業「学び舎にここに元気計画」により計画的に進めてまいります。

項目3の「生きる力を伸ばす社会教育の充実」については、成果指標の「子どもが年齢に応じた感受性を身につけていると思う保護者の割合」と「学んだ成果を社会のために活用している市民の割合」は目標をほぼ達成しましたが、「学習活動に取り組んでいる市民の割合」と「学んだ成果を活用している市民の割合」は、未達成でありました。

そのような中、公民館、図書館、天文科学館等において、講座や体験教室などの活動を積極的に実施しました。

さらに、市民が、身に付けた知識や技術を、地域やまちづくりの活動に活かしていけるような学びの循環づくりに取り組んでいきます。

公民館での学習活動においては、各種学級・講座を開催するなどコミュニティ・地域づくりに取り組みました。しかし参加者の偏りや固定化が見られるため、男性や若い年齢層を対象にした新たな講座を開催するなど、参加者の偏り・固定化解消に向けた取組を行っていく必要があります。平成28年度は受講者層の拡大や地域課題の解決につながる講座として、全館共通テーマによる講座・「地域のお宝発掘講座」を実施しました。

また、家庭の教育力の向上を図るため、子育てグループや家庭教育学級を開設し、子育ての情報や学習機会の提供、子育て相談など家庭教育の充実に取り組みました。今後も、地域や関係者が連携して家庭教育支援に関われるように、効率的、効果的な事業の実施に努めます。

図書館においては、焼津市子ども読書活動推進計画(第2次)に基づき、子どもや保護者が読書に親しめる事業等を実施し、読書活動の普及に取り組みました。また、平成27年度に図書館システム及び図書館のホームページをリニューアルするとともに、公民館図書室との連携システムを構築したことにより、貸出・返却等の利便性が向上し、貸出者数・貸出冊数ともに前年度を上回りました。今後も、より多くの市民が利用しやすいように公民館図書室への配本及び配送を積極的に行い、読書活動の推進に努めます。

青少年を取り巻く環境においては、ニートやひきこもりなど社会生活を営む上で困難を有する子ども・若者に対し、地域ぐるみの支援の必要性が高まって

おり、本市では、子ども・若者支援地域協議会を設置し、各支援団体間の情報交換等を通じ、ネットワークの形成に努めるとともに、地域コミュニティと連携・協力して青少年健全育成等地域の課題解決に取り組みました。今後も関係団体と情報交換を密にし、青少年健全育成の推進に努めます。

項目4の「芸術文化の振興と伝統文化の継承」については、まず、成果指標の「日頃から芸術文化に親しんでいる市民の割合」は未達成でありました。なお、「伝統文化を継承する活動をしている市民の数」についてはほぼ目標を達成しました。また、「市・県・国指定文化財数」は文化財保存に努め目標値を達成しましたが、新たな文化財の指定はありませんでした。

次に、芸術文化の振興については、多くの市民に文化芸術活動に取り組んでもらうために、文化祭や音楽祭の開催、文芸作品の募集、ふれあいギャラリーの提供などを行いました。また、若い世代をはじめ多くの市民が文化芸術に触れるため、大学生と高校生をクラシックコンサートに招待する地域学生支援事業や、幅広いジャンルの自主文化事業を開催しました。

文化団体等においては会員の固定化や若年層の活動離れなどの課題が存在するため、文化芸術活動への関心を高めるような魅力ある事業展開を図るとともに、満足度の高い施設運営・環境整備に取り組むことが課題となっています。

次に、伝統文化の継承については、歴史民俗資料館及び小泉八雲記念館の運営をとおして伝統文化の継承と学習の機会を提供しました。また、重要伝統的建造物群保存地区である花沢地区の歴史的景観を保全するための事業をはじめ、井伊直孝産湯の井や石脇城跡などの環境整備を行い、文化財の活用と情報発信を行いました。

今後は、それぞれの文化財に適した保護と活用策の展開により市民の理解を深め、伝統文化の継承や文化財保護の推進に努めます。

なお、美術資料や歴史民俗資料を適切に保護・保存する場所の不足から、収蔵庫等の確保が求められる状況となっています。

項目5の「スポーツ・レクリエーション活動の振興」については、スポーツ・

レクリエーション活動への参加促進、スポーツ活動への支援、姉妹都市スポーツ交流、安全・良好なスポーツ環境の確保などを積極的に行った結果、成果指標のうち「体育協会加盟人数」の実績値は 95.7%であり、目標を下回ったものの、「スポーツ・レクリエーションの実施率」と「スポーツ教室参加者数」は、目標を達成しました。

スポーツ・レクリエーション活動への参加促進として、「スポーツ少年団合同体験会」を開催し、子どもたちがスポーツに関心を持つ場を提供したほか、スポーツ推進委員や地域体育組織委員とともに地域住民が主体的にスポーツ活動に参画する環境づくりの促進に努めました。

スポーツ活動への支援として、体育協会や各スポーツ団体の会員増加及び組織強化への取組に対する支援のほか、スポーツ推進委員や地域体育組織委員を対象としたニュースポーツ講習会を実施しました。

安全・良好なスポーツ環境の確保として、総合体育館メインアリーナの空調設備の整備や水夢館の室外機交換、漁船員テニスコートの人工芝の張り替えなど、施設の補修や改修を行いました。

2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、モンゴル国選手の強化練習を支援するため「焼津市オリンピック・パラリンピックキャンプ支援協議会」を設立しましたが、今後は、市民の関心を高め、全市を挙げたモンゴル国支援となるような組織を立ち上げる必要があります。

また、全日本男子車椅子バスケットボールチームなどの強化合宿を受け入れ、トップアスリートとのスポーツ交流を行いました。今後も全日本クラスの大会や合宿を積極的に受け入れ、市民が選手との交流をとおり、スポーツを身近に感じるとともに、引き続き、体育協会、スポーツ推進委員、地域体育組織委員との連携を進め、スポーツ参加人数の増加に努めます。

さらに、スポーツ施設の経年劣化が進んでいる中、利用者が安全に良好な環境の中で施設を使用できるよう、計画的な改修等を進めていく必要があります。

以上が平成 28 年度事業の全体評価であります。今後とも事業の工夫・改善を図り、事業の効果、市民の満足度を意識した取組を心掛けてまいります。

5 焼津市教育委員会事業評価委員会による意見等

○委員構成

(50音順・敬称略)

	氏名	所属団体等
委員長	伊藤 稔英	焼津市体育協会副会長
委員長職務代理	飯塚 善久	焼津市校長会副会長（焼津西小学校長）
委員	落合 孟郎	焼津市文化連盟会長
委員	鈴木 英子	焼津市PTA連絡協議会母親副委員長
委員	渡邊 徹	焼津市社会教育委員会委員長

○委員による意見等

施策の大綱：「豊かな心を育てるまちづくり」

(1) 豊かな感性をもつ幼児の育成

- ・ 大型遊具の整備について、結構なことではあるが過去には事故が発生していることから、事故を未然に防ぎ、より安全に子どもたちが遊べるためには定期的な点検が必要である。
- ・ 家庭の教育力の向上に当たり、子育て支援に関する講演会と園だよりだけでは、家庭の父母の意識を変えるのには不十分だと思う。
- ・ 教職員の資質向上のために乳幼児教育推進会議を作ったとあったが、今後は、いかに有効に発展し活用が求められるのではないかと。
- ・ 幼稚園の環境整備について、子どもたちに求められている遊びを作り出す遊具が整備されているか、もっと市も積極的に点検や進言をやっていった方が良いと思う。

- ・ 今、幼児教育最大の課題は“家庭の教育力”の向上にある。各園の努力だけではなく、市当局の支援、社会教育委員の支援など、みんなでバックアップして成果をあげたい。乳幼児教育推進会議は、先進的な取組であり、県や他市も注目している取組であると思う。このような素晴らしい取組を行っているということをもっと市民に発信していきたいと思う。特に研修会に参加している保育士などがどの様な感想を持っているか知りたいと思う。
- ・ 「みんなであそぼう遊具整備事業」により、大型の遊具が設置されているようであるが、それを保護者や子どもたちがどう感じているかを知りたい。また、遊具がもたらすものがどの様なものなのか専門家により解説を受ける機会があったら良いと思う。
- ・ 子どもたちは大人に相手にされず、冷めていたり、あきらめていたり、とても悲しく思う時があり、豊かな心を持てる子どもたちであってほしいと最近よく思う。しかし、豊かな心・豊かな感性を子どもだけに求めても無理であり、親に時間の余裕が必要であるが、毎日仕事に行き、帰宅後は家事に追われ、子どもの話をゆっくり聞く時間もなかなか取れない。更に、核家族では子どもだけの留守番も当たり前で、子どもも慣れてしまっている。
- ・ 家庭の教育力の向上は、とても大切な仕事である。園だよりなどの子育てアドバイスに掲載は、心と時間に余裕がある方は読み、考えるが、心に余裕がなければ目に入らず、月間予定だけ携帯で写真を撮って終わりになってしまう。子どものために、少しでも母親の心に余裕が持てたらいいなと思う。また、幼稚園・保育園に先生としてではなく、「おばあちゃん」のような方がいて、母親に話しかけてくれるベテラン先生がいたら素敵だなと思う。

(2) 生きる力を育む学校教育の充実

- ・ 教員は多忙であるが、部活動の現状と小中学生の体力が低いことについて、丈夫な体を作った上で学力が伸びていくものと考えており、教員が部活動と一緒に活動したり、話し合ったりすることで子どもは成長していくと思う。
- ・ 焼津市の学校は安定しているという感じを受ける。ただし、その中でも学びの充実感を持ってない子がいる場合には温かい手を差し伸べていただきたい。
- ・ 小中学校の先生は忙しく夜遅くまで仕事をしており、健康問題などが心配である。先生方が安定した教育ができるような配慮をお願いしたい。

- 登下校の見守り隊など、市民一体となって子どもを育て上げるという機運の高まりは重要であり、大切なことであると思うので、各校で情報交換を更に行い、取組の充実を図られたい。
- 今こそ大切にしたいことは、子ども一人一人に学力の向上を実感できる手立てを、各教師が講じることである。常葉大学の中村教授が“学力向上には児童が、何ができるようになったかを実感できる授業づくりが大切”と強調されており、全く同感である。「文節で読んでいた子が文として読めるようになった」、「視写するのに今まで語句ごと見ては書いていたが、一文を書けるようになった」、「話す時に、接続詞を的確に使って話せるようになったので、わかりやすくなった」などといった喜びを味あわせてあげたい。子どもを伸ばすきっかけは、日常の中にいくつもある。
- 基礎体力のある小中学生の割合は、なかなか右肩上がりに向上していくことは難しいのではないか。次の総合計画策定の際には、もっと別の資料にできないか。例えば、運動好きな子どもたちの増加を目指すのであれば、「体を動かすことが好きですか?」、「運動することが楽しいですか?」というような質問に答えてもらうなどはどうだろうか。運動好きをつくる。そこから、体力向上に結び付ける。その数値的な結果から判断するというのは、かなりハードルが高いように思う。
- 体力の向上で中学は目標値を上回っているが、その要因について、現場の先生方はどう思っているのかを聞いてみたい。
- 先生方が「授業が分かる」ために日々努力してくださっていることにとても感謝している。子どもは、楽しかった授業は家に帰ってから「こんな事があった」と説明してくれ、話の内容はよくわからなくても、子どもの笑顔だけで先生方の気持ちが伝わってくる。是非、多くの子どもたちが笑顔で授業を受けられたらと思う。先生方のプライベートや健康が充実してこそだと思うので、どうか先生方の負担を軽くできるような職場であってほしいと願う。
- 焼津市では、講師の先生が担任として受け持ってくれているが、保護者の中では教師と講師の違いが判らず、講師がどこまで責任を持てるのかと気にしており、不安の声をよく耳にする。
- 子どもを見守ってくださっている方々が、子どもの笑顔で元気になると言っただけのだけで、感謝しきれない。子どもたちが地域のお役に立てたり、つながりをもっと持てたら良いと思う。

(3) 生きる力を伸ばす社会教育の充実

- 図書館活動について、努力していると感じている。読書会などに参加することは、保護者の教育力向上につながることから、親子で参加してほしいと強く思う。
- 公民館活動について、公民館長が若返り、発想が豊かで、住民と馴染んで一生懸命やってくれており感謝している。
- 公民館活動について、職員は良くやってくれており、地域の人とも和気あいあいに運営してくれていて本当にありがたいと思っている。
- 図書館活動について、小中学生の読書量は若干増えているということであるが、本離れについて危惧している。
- 公民館の講座が専門的になってしまうと初心者が入れなくなってしまうが、講座は本来からすると専門的に学ぶことができることも目的の一つなので、難しいところである。是非、公民館は自由に出入りできる、市内・市外の大人から子どもまでが集まることのできる場所となってほしい。
- 市全体として「文化活動」が多様に、しかも活発に行われている実感がある。いかに市民を引っ張り込むかがこれからの勝負といえ、そのアイデアに期待する。「天文科学館」のイベントは注目を集めており、アイデアが豊かである。
- 家庭教育支援チームの配置による成果は、今後徐々に現れてくると思う。長い目で捉えていきたいと思う。
- 和田公民館が地域交流センターに生まれ変わることを、非常に楽しみにしている。ビフォー・アフターの地元の人たちの声をしっかりと調べて、知らせていただけるとありがたい。
- 全体的に各施設は、「守り」ではなく「攻め」の運営をしてくれていると感じている。関係する皆さんの創造力には頭が下がる。
- 最近はいろいろと新しい公民館講座を目にするが、時間が合わず、なかなか参加することが難しい。仕事を休んでまでは参加できないため、断念してばかりである。講座の様子や感想を、写真やDVDで見せてもらえたら良いと思う。

(4) 芸術文化の振興と伝統文化の継承

- ・ 目標値の設定が高いため、評価が低くなってしまふ。現実性のある目標値を設定できれば適正な評価となり、それが新しい施策につながるのでぜひお願いしたい。
- ・ 文化活動への参加に若者が少ないとの評価であるが、学生は歌や踊りを一生懸命やっており、静岡福祉大学では写真展を行うなど、結構若者は活動していると思う。市民の活動と連携を図ることができれば、更に展開することができるのではないかと考える。
- ・ 花沢地区は、全国的にも価値があることを市民が知らないことは残念であり、学校教育と連携して夏休みなどに見学会を行うなどの工夫をすれば、市民に浸透していくのではないか。また、貴重な文化財が焼津市にはたくさんあるので、倉庫にしまっておくだけではなく、展示することができれば市民も関心を持つ。
- ・ 文化連盟では、出前授業の冊子を各学校に配布して焼き物の指導、琴の指導などを行っている。各学校でも、音楽を聴く会、歌を聞く会、踊りを見る会、お茶を入れる会、花を生ける会などを学校教育の中にほんのちょっとでも取り入れてくれば、次の時代を背負ってくれる子どもが生まれるので、学校教育の応援をお願いしたい。
- ・ 他地区の建造物群は商業化されてしまっているが、花沢地区は数少ない自然のままに保存された地区である。市民にも訪れてもらえるように、もっとPRする体制を整えてくれば大変ありがたいと思う。
- ・ 大きなギャラリーなどの展示する場所があれば市民文化祭の優秀作品などを飾ることができる。市役所新庁舎に作品の展示ができ、毎月展示内容が変えられる場所を確保してほしい。
- ・ 満足感の高い施設運営、環境整備に取り組んでいることが、市民からも良くわかる。市民を誘い込むアイデアが求められる。
- ・ 文化活動は、たいへん活発に展開されていると思う。「一億総活躍社会」が目指され、人手不足が深刻になり始めている社会において、文化面の充実というのは難しい課題だと思うが、地道につなげていってほしいと思う。

- ・ 焼津市は、貴重な文化財が豊富な街である。更に、情報の発信を強め、市民の自覚へとつなげていってほしいと思う。
- ・ 子どもたちが芸術に触れる機会が少ないように思う。県立美術館、静岡市立美術館、藤枝郷土博物館など、焼津市外の美術館などに行く子がいることから、焼津市でも芸術や伝統文化をいつでも見ることができ、体験できる場所があると良いと思う。また、公民館などでも、日頃見ることができない絵画などを見ることができればうれしく思う。
- ・ 花沢地区はとても興味があり、子ども会のハイキングや小学校の遠足などで行くチャンスがあれば、親子で行く人も増えると思う。花沢地区の景観に感動する子どもたちであってほしい。学校の授業で伝統文化を学んでいるが、更に興味を持ってもらえたらと思う。

(5) スポーツ・レクリエーション活動の振興

- ・ スポーツ推進委員は大変な活躍をしてくれており、本市のスポーツ振興に尽力されている。
- ・ モンゴル国との交流は、スポーツ交流だけではなく文化交流も行うべきである。また、オリンピック後も両国が行ったり来たりして連携を図りながら、異文化を学ぶ機会を設けてはどうか。
- ・ モンゴル国との交流は、一部の市民だけになりがちなので、多くの市民がスポーツの好き嫌いとは関係なく参画できる取組の工夫をお願いしたい。
- ・ 学校の体育館が、夜間スポーツ団体に独占されている現実の中で、市民皆スポーツを目指して、地域市民に開放する日を設けることができれば素晴らしい。近所で誘い合って楽しむ場となれる。
- ・ モンゴル国との交流は、スポーツだけでなく、波及効果が期待される大変楽しい取組であると思う。是非、長期計画のもとで、オリンピック・パラリンピック後まで続く息の長い交流となることを望む。
- ・ シーガルドームの空調設備の設置は、長い間の市民の悲願だったように思う。これを機会に、焼津のスポーツ熱が高まっていくように、上手に活用して行ってほしいと思う。

- ・ 学校でモンゴル国を話題にしていただけたら、スポーツに興味のない子どもたちでも関心を持って応援できると思う。オリンピック・パラリンピックを身近に感じ、スポーツ好きな子どもが増えてもらいたい。
- ・ ワンバウンドフラバルを是非、子どもたちに学校で体験して楽しさを知ってもらいたい。そして、親子で参加できるような機会を作っていただきたい。

(6) その他

- ・ 焼津市の教育行政は、公民館、学校教育などいろいろな点できめ細かな配慮をしていただき、全体として非常に安定しているのではないかという感想を持っている。我々市民としても、大変うれしく思っている。今後も、先生方の健康を維持しながら、良い教育の場を作っていただきたいと思う。
- ・ 総じて「豊かな心を育てるまちづくり」について、市長さんをはじめとして、アイデアもあり努力されていることがよくわかる。共通の課題といえば、一層のアイデアを考え、市民を引き込む努力が必要といえる。そうすれば、“人がキラリ”と輝く素敵なまちになっていくだろう。主人公は一人一人の市民であることを一時も忘れないでほしい。
- ・ 焼津市では子どもを育てるために、たくさんの方々が見守ってくださっているということを感じることができた。多くのお母さんは、一人で必死に育児と家事に頑張っており、目の前のことしか見えず、とにかく子どものために仕事を頑張っているのに、その子どもを一人きりで留守番させたり、祖父・祖母に預けたり、時間に追われて子どもの宿題の丸付けもできない、本読みも聞いてあげられない。最後はそんな自分を責めて見たり、子どもにあたってみたりと、毎日悩みながら頑張っている母たちである。「家庭の教育力の向上」この言葉を聞いた時、そのとおりだと思った。子どものために、まず家庭での親が向上しなければいけない。非常に大変なことではあるが、一人でも多くの母親が家庭での教育力向上に気が付けたらと思う。教育委員会の皆様の御尽力に心から感謝申し上げます。

6 平成 28 年度教育委員会開催日及び議案提出状況

(1) 平成 28 年 4 月 20 日開催

(2) 平成 28 年 5 月 24 日開催

議第 1 号 焼津市立学校設置条例の一部を改正する条例（案）について

議第 2 号 平成 28 年度教育費 6 月補正予算（案）について

議第 3 号 焼津市青少年教育相談センター運営協議会委員の委嘱について

議第 4 号 焼津市図書館協議会委員の委嘱について

(3) 平成 28 年 6 月 22 日開催

議第 5 号 焼津市立図書館運営基本方針（原案）について

(4) 平成 28 年 7 月 20 日開催

(5) 平成 28 年 8 月 18 日開催

議第 6 号 平成 28 年度教育費 9 月補正予算（案）について

議第 7 号 焼津市立図書館運営基本方針（案）について

(6) 平成 28 年 9 月 28 日開催

議第 8 号 平成 28 年度焼津市教育委員会事業評価報告書について

(7) 平成 28 年 10 月 11 日開催

(8) 平成 28 年 10 月 28 日持ち回り議決

議第 9 号 焼津市教育委員会職員の懲戒処分について

(9) 平成 28 年 11 月 16 日開催

議第 10 号 平成 28 年度教育費 11 月補正予算（案）について

(10) 平成 28 年 12 月 14 日開催

議第 11 号 平成 29 年度教育費当初予算要求主要事業（案）について

議第 12 号 焼津市花沢伝統的建造物群保存地区保存計画の変更について

(11) 平成 29 年 1 月 20 日開催

(12) 平成 29 年 2 月 16 日開催

議第 13 号 平成 29 年度教育費当初予算（案）について

議第 14 号 平成 28 年度教育費 2 月補正予算（案）について

議第 15 号 平成 29 年度焼津市教育重点施策並びに焼津市幼児教育及び焼津市学校教育の重点（基本方針）（案）について

議第 16 号 焼津市総合体育館改修工事に伴う焼津市立学校屋内運動場の臨時的使用に関する要綱の制定について

(13) 平成 29 年 3 月 2 日開催

議第 17 号 平成 28 年度末教職員人事異動の内申（案）について

(14) 平成 29 年 3 月 10 日開催

議第 18 号 焼津市教育長の辞職願に対する同意について

(15) 平成 29 年 3 月 16 日開催

議第 19 号 焼津市教育委員会処務規程の一部改正について

議第 20 号 焼津市教育センター設置要綱の制定について

議第 21 号 焼津市教育委員会事務局組織等に関する規則の一部改正について

7 平成28年度教育費決算

(単位：円)

款 項 目	平成27年度 決算額	平成28年度 決算額	差引増減額
10 教育費 (こども育成課分含む)	4,284,164,499	4,195,018,595	△ 89,145,904
(1) 教育総務費	542,871,214	535,362,975	△ 7,508,239
1 教育委員会費	2,488,052	2,414,620	△ 73,432
2 教育事務局費	207,081,685	198,552,094	△ 8,529,591
3 学校教育指導費	215,017,712	217,023,289	2,005,577
4 私学振興費	118,100,469	114,405,769	△ 3,694,700
5 学校建設基金費	183,296	2,967,203	2,783,907
(2) 小学校費	615,404,278	464,411,294	△ 150,992,984
1 小学校管理費	288,961,405	347,509,094	58,547,689
2 小学校振興費	98,580,718	110,513,561	11,932,843
3 小学校建設費	227,862,155	6,388,639	△ 221,473,516
(3) 中学校費	329,742,892	327,571,041	△ 2,171,851
1 中学校管理費	177,368,546	237,765,019	60,396,473
2 中学校振興費	79,311,179	80,626,022	1,314,843
3 中学校建設費	73,063,167	9,180,000	△ 63,883,167
(4) 幼稚園費	374,630,725	305,616,833	△ 69,013,892
1 幼稚園費	280,353,149	305,616,833	25,263,684
2 幼稚園建設費	94,277,576	0	△ 94,277,576
(5) 社会教育費	1,237,758,796	1,205,061,775	△ 32,697,021
1 社会教育総務費	90,043,164	83,399,191	△ 6,643,973
2 文化振興費	17,325,796	14,942,349	△ 2,383,447
3 青少年教育費	28,370,045	19,727,675	△ 8,642,370
4 成人教育費	8,903,025	8,987,507	84,482
5 公民館費	220,846,710	183,334,212	△ 37,512,498
6 図書館費	174,432,699	174,913,595	480,896
7 文化会館費	356,380,171	349,592,921	△ 6,787,250
8 文化財保護費	54,805,973	58,410,698	3,604,725
9 歴史民俗資料館費	14,704,513	12,552,652	△ 2,151,861
10 デイスカリーパーク費	271,919,221	266,800,277	△ 5,118,944
11 公民館建設費	0	32,363,770	32,363,770
12 文化事業基金費	27,479	36,928	9,449
(6) 保健体育費	1,183,756,594	1,356,994,677	173,238,083
1 保健体育総務費	128,896,182	118,027,752	△ 10,868,430
2 社会体育施設費	34,939,068	28,367,566	△ 6,571,502
3 市民体育館費	13,918,425	12,641,746	△ 1,276,679
4 総合グラウンド費	65,527,703	220,062,135	154,534,432
5 大井川河川敷運動公園費	33,292,947	33,163,464	△ 129,483
6 学校給食費	907,058,945	944,659,964	37,601,019
7 スポーツ振興基金費	123,324	72,050	△ 51,274